

# 管外保育の利用

核家族化や女性の就業増加によって、乳幼児保育の需要が増加しています。特に、交流人口の多い両市の間では、居住地と勤務地が両市にまたがる市民も多く、管外保育（居住地外の保育）の実施が望まれていました。そこで、平成十二年三月二十



砂場は子どもたちにとって楽しい遊び場

一日に「前橋市と高崎市相互の管外保育の実施に関する協定書」を締結し、同年四月から、管外保育を実施。当初は本市受け入れ児童四人、高崎市受け入れ児童五人という状況でしたが、本年五月一日現在では、本市の受け入れが二十八人、高崎市の受け入れが二十八人、計五十人となっています。

管外保育は、保護者の勤務先が高崎市内などで、本市の保育所の保育時間では、送迎が困難な場合に受けられるものです。

…問い合わせは児童家庭課 8906268へ。

安心して預けられます



森山雅子さん  
駒形町・29歳

勤め先の関係で、高崎市内で子どもを預けることができる保育所を探していました。通勤経路のことを考えると、時間の無駄がないので助かりますよ。安心して預けられます。この制度の枠がもっと広がられると利用者も増えると思います。

## まつりで市民交流

前橋まつりで豊岡小（高崎市）のマーチングバンドが素晴らしい演奏を披露



元気あふれるだんべえ踊り



高崎まつりであいさつする高木市長